



2016年12月22日

トヨタ・モビリティ基金、インドのベンガルール市の地下鉄駅へのアクセス向上に関するプロジェクトをワールド・リソース・インスティテュートと開始

一般財団法人 トヨタ・モビリティ基金（Toyota Mobility Foundation。以下「TMF」）は、ワシントンD.C.に本拠地を置き、地球環境や都市交通の課題に取り組む非営利団体ワールド・リソース・インスティテュート（World Resources Institute。以下「WRI」）とインド・カルナタカ州ベンガルール市（旧バンガロール市）において地下鉄駅へのアクセス向上に関するプロジェクトを開始した。

IT企業集積地として発展し人口約1,200万人を有するベンガルール市では、急速な経済成長に伴い自動車交通量が急増し、慢性的な交通渋滞が発生している。その対策の一つとして、地元政府による地下鉄網の整備が進められており、地下鉄利用者数の拡大が渋滞解消に向けた重要な課題となっている。

そのため、TMFとWRIは、本プロジェクトを通じ、州政府、市政府、地下鉄およびバス公共交通当局、地元のIT企業といった様々な関係者と協力し、ベンガルール市民による地下鉄利用促進を図るとともに、市民にとってより快適で安全なモビリティモデル構築に向けた活動を行う。

本プロジェクトでは、「ファーストマイル」、「ラストマイル」と呼ばれる「自宅と駅」、「駅と目的地」間のアクセスに焦点を当て、地下鉄利用の阻害要因となっている背景、真因を特定するための調査を行う。その結果をもとに、IT技術者等を対象に、地下鉄駅へのアクセス向上をテーマとしたアイデアコンテストを実施し、選出した有望なソリューションを現場にて試行の上、その効果を検証する。

更に、本プロジェクトの結果を総合的に評価した上で、インドにおける今後のプロジェクトについて方針を定める予定である。

TMFの早川茂事務局長（兼 トヨタ自動車(株)取締役・専務役員）は、「本プロジェクトは、地元のベンガルール市政府、NPO、IT企業など様々なパートナーと協力しながら進めていく。本プロジェクトを通じ、ベンガルールを含む新興国の都市において、鉄道、地下鉄、自動車等、多様な交通手段が共存する最適なモビリティモデルを探求し、より良いモビリティ社会の実現に貢献していきたい。」と述べた。

プロジェクトの内容は以下の通り。

プロジェクト名	ベンガルール・モビリティ・プロジェクト-Station Access & Mobility Program -
業務委託先	ワールド・リソース・インスティテュート
期間	2016年12月～2018年3月
主な取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄駅へのアクセスに関する問題の特定 他地域での事例等を共有するワークショップの開催 IT技術者等を対象にしたアイデアコンテストの実施 アイデア・ソリューションの試行、効果の検証、結果の共有

トヨタ・キルロスカ・モーター（TKM、トヨタ現地法人）副会長のシェーカー・ヴィシュワナサン氏は、「TMFとWRIによる本プロジェクトを歓迎する。本プロジェクトによって、ベンガルール市のモビ



リティアクセスが向上し、市民生活の改善につながることを期待している。TKMはこれまでもインド全域で交通安全を促進する活動を行ってきた。その経験を TMF や WRI と共有し、加えて、本プロジェクトに必要なサポートを提供していく。」と述べた。

WRI インドのインテグレートド・トランスポート・ディレクターであるアミット・バット氏は次のように述べた。「鉄道網といった大量輸送手段へのアクセスに関する課題は、インドの他の多くの都市でも発生している。我々の取り組みによって、テクノロジーを活用した、環境負荷が低く安全でシームレスな地下鉄駅へのアクセスが実現することで、より多くの市民が地下鉄を利用するようになることを目指している。」

TMF は、2014 年 8 月の設立以来、豊かなモビリティ社会の実現とモビリティ格差の解消に貢献することを目的に、タイやベトナムでの交通手段の多様化や、日本の中山間地域における移動の不自由を解消するためのプロジェクトに助成するなど、世界のモビリティ分野における課題に取り組んでいる。

今後も、トヨタの技術・安全・環境に関する専門知識を活用しながら、大学や政府、NPO や調査研究機関等と連携し、都市部の交通課題の解消、パーソナル・モビリティ活用の拡大、次世代モビリティ開発に資する研究などの取り組みをさらに拡大していく。

WRI は、ブラジル、中国、ヨーロッパ、インド、インドネシア、メキシコ、米国に拠点をもち、50 カ国以上で活動している世界的な研究機関である。450 人以上の専門家等が、様々な組織や団体と協力し、地球環境保護に関する各種取り組みを推進している。

WRI インドは、政府、企業、市民、非政府組織等と協力し、インドにおける緊急かつ重要な 4 つの課題である急速な都市化、エネルギー需要の拡大、気候変動への対応、大規模な天然資源汚染の解決に向けて活動している。

(問い合わせ先)

トヨタ・モビリティ基金 担当：男鹿谷

TEL：03-3817-9960

E-mail：info-Bengaluru@toyota-mf.org